



輿地圖説拾遺

神

ル 2
3287
11



造硝石を産を

造硝石を産を
注硝石を造る小茅一濕潤の土地を擇之
舎と建つべし其舎長さ八九丈幅二丈其四
面小小窓を開き内よ消丘と築き成を其
丘土ハ石炭貝殻の焼灰汚溝の泥土又墓葬
地等の如き汚臭の上にて厩舎内不積堆を
其高さ大約舎の半よ居るべし其丘上よ尿
矢又ハ獸屍あつひを生石灰皮革等を撒布
し其上よ草葉の腐爛して濕潤蒸氣を發を

45年7月1日寄
不詳氏



る物或ハ厨の腐藁と取て包蔽一安置する
こと夏月ハ大約五十日冬月ハ七十日あり
て鉄鋤を下して此丘と掘崩し其中ハ空氣
を穿入せしめ其中又汚水を瀉ぎ舊の丘
と一又月餘ありて掘崩し又舊の丘と為を
と初ノ如く一強て丘中の汚物を腐壞せし
むるを要を其舎の窓戸ハ夏月北窓を開き
冬月南窓を開く如斯なること二復と經る
ときハ硝丘内ふる百物悉く腐化し變

して黧黒色の土とあり是即ち消土ありと
天然人家の舊床下生ごり消土不殊なり
故に其製煉して醇消石と為をも亦
床下生ごり品不殊なりこと如く惟夏月
此丘山と掘崩との間鼻口は紙絮と挿て
臭氣と肺臟を喻入せざると要を然らざれば
大に腐敗熱病を發して治せざり不至り
麻叻刺斯政所ハカルナ一テ地名の直北ふる
榜葛刺不連り穀邏滿埕爾浴海の地ハ皆此政

所^{しよ}又^{また}附^ふ屬^{じやく}と今^{いま}と距^{きよ}る^{こと}二^に百^{ひやく}年^{ねん}前^{まへ}よりして
英^{えい}人^{にん}此^{この}地^ちは商^{しやう}館^{くわん}と置^おき遠^{とほ}くは侵^{しん}掠^{りやく}して所^{しよ}屬^{じやく}と
為^なる^{こと}此^{この}地^ち交^{かう}易^いとなると甚^{しく}ど便^{べん}利^りなりと雖^も
どと土^と産^{さん}夥^{おほ}しと以^{もつ}て全^{ぜん}世^{せい}界^{かい}の商^{しやう}船^{せん}雲^{うん}集^{じつ}し來^き
て互^{あひ}市^しとなれ又^{また}此^{この}地^ちよりも數^{あま}多^たの商^{しやう}船^{せん}と出^い
して四^し方^{ほう}小^{せう}交^{かう}易^いを第^だ一^{いつ}歐^{おう}羅^ら巴^ぱ地^ち中^{ちゆう}海^{かい}毘^ひ爾^に滿^{まん}
支^し那^な齊^{せい}狼^{らう}島^{じやう}豪^{かう}斯^そ多^た刺^し里^り地^ち方^{ほう}等^{とう}と專^{せん}とを府^ふ内^{ない}
人^{にん}口^{こう}三^{さん}十^{じゅう}九^{きゅう}萬^{まん}七^{しち}千^{せん}中^{ちゆう}は就^つて木^{もく}綿^{めん}と織^おる^者一^{いつ}
萬^{まん}九^{きゅう}千^{せん}人^{にん}玻^は璃^り器^きと製^{せい}する^者三^{さん}萬^{まん}人^{にん}硝^{せう}石^{せき}造^{ぞう}る

者^{しや}七^{しち}千^{せん}人^{にん}○本^{ほん}府^ふ内^{ない}外^{がい}硝^{せう}石^{せき}と造^{ぞう}る^所三^{さん}十^{じゅう}八^{はち}所^{しよ}
あり○府^ふ内^{ない}小^{せう}馴^{じゆん}畜^{じやく}○豚^{とん}犬^{けん}牛^{ぎゆう}等^{とう}の類^{るい}○と豢^{かん}ふ
所^{しよ}ありて洋^{やう}客^{かく}小^{せう}饗^{きやう}應^{いん}を人^{にん}家^かの粗^そ悪^{あく}惟^{ただ}英^{えい}人^{にん}の
來^き住^{ぢゆう}する^市街^{がい}及^{および}大^{だい}政^{せい}廳^{てい}の宏^{こう}整^{せい}ありて佳^か致^ち
あり又^{また}武^ぶ庫^こあり白^{はく}礮^{たう}如^に礮^{たう}忽^{こつ}礮^{たう}の類^{るい}概^{がい}ね七^{しち}萬^{まん}
門^{もん}不^ふ減^{げん}せど又^{また}軍^{ぐん}艦^{かん}二^に十^{じゅう}七^{しち}艘^{そう}中^{ちゆう}は就^つてリニ一^{いつ}
船^{せん}十^{じゅう}二^に隻^{しやく}あり軍^{ぐん}人^{にん}祖^そ家^かより來^き住^{ぢゆう}する^者七^{しち}千^{せん}
人^{にん}船^{せん}卒^{そつ}船^{せん}奴^ぬの皆^{みな}此^{この}地^ち方^{ほう}の^人みして七^{しち}萬^{まん}餘^{じよ}口^{こう}
あり其^{その}軍^{ぐん}艦^{かん}の旗^き章^{ちやう}は白^{はく}地^ちと五^ご條^{じょう}の赤^{せき}筋^{きん}と繪^{えい}

くと云此府と距つこと遠くぐざりてアルコト地と稱する福地あり近世に至るまで英國所領と共和政治と為せし方今の蠶食せしきて其所轄となり定額の地金と英國小納ると云閩州廣袤七千一百六十三箇里方積人口一千五百萬

網買政所ハ麻刺襪爾沿海あり諸地と云首府も亦網買と云大河の末流洲渚中もあり城寨堅固府内の工場宏大ありて數百種の物

一件と作る又海軍武庫あり戰艦十七隻蒸氣船大小九隻大煩一萬餘其傍に演武場あり常歩隊炮隊の操練と為る其他學校ありて兵書地理測量窮理醫療等の學科と分つ又病院幼院ありて老幼と生育を府内人口二十萬中一就て歐邏巴人七千支那人二萬餘人家皆大竹造り成る但英國大政官ハ美館に住し地方の交易軍旅及び訟訴と聽て理非と分別を此地不好譽脚ありと以て前後印度支那百爾西

亞より歐羅巴洲へ運輸する荷物泊處となり
其運上金定額ありて英國大政官に納る此政
所は附屬する府數多あり第一「カンバイ」人口
十萬ハ生千セ「好港」あり互市と為る「蘇喇
府」大河の側よりあり人口七萬九千タテ府最
大とも人口五十萬其中一千四百人の奉火教
徒なり此府は病畜と養ふ院二所あり又互市
場あり内部地方人との交易極めて繁昌せり
最も百爾西亞種馬と上と此地よりして
通ぐる所三百里○即ち我國の六百里○後九
支又分きて海に注ぐ

中立諸州

的甘州内ニ「ニ」サム地名政所あり式日ニハ文
武官相會して政治軍旅の事と議を州内連合
して政治を為る府二あり一と「アウレ」カ
バツト」と云一と「ヘイテラバツト」と云人口十

五萬又府あり「コルコシダ」と云莫卧兒帝舊領の城寨あり造築堅朴なり

ヲウデ府此地ハ安日河傍近ニ在ト以テ土地肥沃五穀の直ハ賤ニシト土塊の如ク府内佛

氏の舊蹟あり「ヒカノウ府」人口三十萬演武場あり騎兵二萬歩兵三萬餘炮煩ハ皆西洋ニ撰

擬ト兵法鎗刀ハ然ラズ新メーソレ府人口三萬ベトニル府「ヘーデル

ナ」キル府「シテルドロ」ク府三府皆四萬人又過ビ「コシン」及ビ「タラハ」レ「コ」レ府「チリハ」

「タ」バ「タ」レ府「ホルカ」府あり産物米白檀胡椒佛蘭西埔頭三

穀暹滿埕兒岸頭小房低者里府あり人口三萬榜葛刺地方又「カレ」デル「チ」ゴル府あり人口四

萬一千麻刺襍爾岸頭小「マイ」府あり人口二萬七千

葡萄酒埔頭一麻刺襍爾海瀕小繁昌の交易府あり卧亞と云

人口三萬羅瑪宗の法徒居住を

弟那瑪爾加埔頭一

穀邏滿埵爾海口ふテラシギイバル府あり好
港をり互市繁昌網買又繼ぐべし又工場及
び學横病院あり此府清潔の海鹽及び人造硝
石と出也

涅埵爾蘭土埔頭二 即和蘭

穀邏滿埵爾海岸ふバリアカラと云地あり又
サドラス府あり方今の甚ど廢蕪を其他麻刺

襪爾海瀕トコシト府あり我文化の比和蘭より

其地ふ來任する大政官此地を英國より復しバ

シカ島の報となすと云

獨立鞆鞆總説

此州の境界北ハ魯西亜東ハ支那所屬國及び圖
伯特小至り南ハ加非爾斯堂西ハ北高海に達を
天度北緯三十四度二十二分より四十七度三十
九分より至る其東經ハ七十一度二十分より九
十一度より至る廣袤三萬三千箇里方積ノ口五百

萬餘部内半ハ山嶽半ハ平夷諸穀と産を乞ふ又
測量を乞ふる曠原あり其乾燥の沙土半ハ水
草あり牧畜と為を乞ふ又アラル湖あり駭く
魚族と産を邦人の即ち眞の韃靼にして身材中
等肌肉強韌肥大なり其頭の尖圓其口狭小眼
目細小して光彩炯々毛髮黧黑齒牙醇白なり其
支種韃人の大約此と同ドと虽ども濶眼短面耳
朶張大なりと異なりと云ふ邦人半ハ馬哈默教と
奉ド半ハ喇嘛と信ど其徒の説云曰喇嘛ハ假ふ

人間界ハ降誕して衆生と濟度する天神なり故
ハ古今ハ互て死すること有り其教法ハ大約佛
氏の輪廻の説又似たり其教化主死すると云ふ
其徒謂らく法王の精神假ふ軀體と弃て去まり
又何其の地又再來を乞ふ願くハ已の近傍地方
ハ出現して無數の福と授けしめて晝夜法經と
讀誦し或ハ水又投ドて祈禱し或ハ牲と備へて
祈るもあり然れども其精神の移轉して已ハ某
生の體中又投ドるハ喇嘛の近臣學術ハ長ぜり

者一人の外知る者ううと云蓋し其近臣豫しめ
喇嘛は給仕せし小童中の利発なる者と擇び二
三の奇語と授け後ち是と野外に置と衆と招て
諭して曰此地と距ること若干里ありて法王降
まり余衆と之と迎うべし既ありて其童小遇ふ
とこの俄に頓首拜趨を此體と見るや否衆人來
拜して教言と請ふ其童初め記憶せし二三語と
發と衆徒其言と聞と此と喇嘛の正統といふ法王
一度已まの手と舉て拜觀者の頂上と摩ると

この無數の悪業一時に消滅し盡くと謂ふ州内
國王ありふありは惟此地に往古より居住せし
者と貴族とを此首軍と起ると凡に四萬人餘と
帥ふと云近三十年前都爾格斯坦の四酋長兵卒
十萬火繩銃七百大煩七十門と率ひ大に大布喀
里の地と掠略を爾來大布喀里大に疲弊ると云
蓋し其初都爾格斯坦の馬哈默教と奉り大布喀
里人の喇嘛と信ぞ故に抗拒互に相納まを連年
戦へり北高海中にあり數十島皆此内は隸を俄

羅斯人其島來りて互市し又海狗を獵し定額
の税金と都爾格斯堂哈薩克等と納ると云惟布
喀里小屬とる島嶼ハ漁獵又便なり

如非爾斯當一名アフゲハニースタニハ昔時ハ
百爾西亞の東部ニある一雄府なり今と距る度

九十七年前ふ下りて百爾西亞王シヤカテル
殂と嗣王尚弱冠ありて政治と視ど其虚隙に投

してアハ子ニ名地の酋長其一軍を帥ひて百爾
西亞に亂入しカニダハル及びカウラサニの地

と掠略し其都を鄂爾善ニ定む其疆界北ハ鞏
及び伽什瓦爾圖伯特の大山脈に至り東ハ前印

度に接し南ハブルシセスタニ西ハ百爾西亞に
限る其廣袤三萬箇里方積人口一千二百萬域内

を滋潤して膏沃とるを大河ハ身毒亞謨又其小
なるもの救擧をぐりりる氣候南北甚ど相違あ

り北方の地山郷ハ四時寒涼人畜ニ可なり其南
部ハ位なる平地の諸縣ハ酷烈燬ガ如し北疆ハ

意貌大山脈に連り山脊重疊其高さ皆一萬二三

千尺小下らぐ中不統て高崇の峯を「コンド」と稱
を其高さ二萬尺其山脚の旄牛麝香鹿金銀塊及
び名馬と産を邦民常不此諸品と百爾西亞不交
易を西部の荒曠たる砂海處々不散在を土人其
地不隱ま住に印度より鞆靴及び俄羅斯不運輸
する諸件物を奪掠し或は隊伍商の往來するを
待て火繩銃よく殺傷し其齎を所の諸貨と獲る
と生活と為を中部膏沃の地不の酋長數人あり
て鄂爾善府不臣伏を中不「マガニー」と稱する人

種あり原と都爾其の屬不出づと云其酋長「カ
ニス」剛強ありて鄂爾善不下ろを欲とん一揆
と企て百爾西亞と謀て本府と傾んとて今と距
ること二十一年前強兵一萬六千騎歩二萬四千
象六百と帥ひ鄂爾善府と擾乱し遂不其国主と
捨へ之と百爾西亞は禁錮を又國主の妃妾美麗
なる者數人と捨へ鞆靴不輸り其王妃と已まの
妾と為を妃二女と生じ之と鄂爾善王の末子と
配して其後と建しむ方今不至てハ鄂爾善國主

甲兵と備へ軍人と養ひ父祖の冠と報ぜんと欲
と但其人智略ふ乏しければ果して父と百爾西
亞の獄より迎んや否と知らざりて府内工場あり
包頭帛と産と其品全世界ふ冠たり歐邏巴の婦
人の最好んで之と用ゆ國主の居城外郭ハ粗劣
ありて用は適せざると虽ども天然の地形善と瓜
以て城寨太ど堅固なり其雉堞の尖頭の如きハ
金と鏤め裝飾と其樓櫓ハ宏壯ありて内は數百
の兵士と納き大炮と連発とあり邦内アアガレ

ス種と稱する人民あり農耘及び賤役と執らざり
多くの官途は居る其性剛強と虽ども又頗る愛
憐の情あり其言語ハ大約百爾西亞不出づ軍兵
ハ多半騎兵其人面黧黒ありて亂髮長鬚殺傷
奪略と常とハ大小騎馬の技ふ於て煉熟せり産
物小麦玉蜀黍米没藥巴且杏煙草砂糖乾薑材木
駿馬駱駝羊水牛獅子虎狼熊黄金白銀鉛鐵硝石
山鹽礬石等全州の首府ハ鄂爾善なり人口二十
萬カセメール府人口十五萬

百爾西亞の舊史又名高古國なり方今闔州と
分て三といひ曰く東西百爾西亞一の百爾西亞と
服属せど處々不割據とる酋長の所領とる州内
の名府とタウリスと云人口二十五萬軍卒遊兵
七萬四千。隊伍高三百〇一隊伍の五十人より百
二十人と云〇寺院二百五十中不就て舊寺と稱
とる者の如徳草創の殿堂なり〇如徳の今と距
ること二十四百年許り〇府内砲煩造場所及び
絹布の高館あり造築太ど宏大なり全州の首府

「イスパこの甚ど零落して人口三分の二と減じ
口數三十萬國王不親衛とる兵隊の騎三百象一
百十二隊歩十一萬邦人國王と尊稱してサハと
云其政治の時不臨で宜とる如を其下汗數人あ
りて各州の政治と為と又マチーセ人種あり其
性勇偉十萬餘の軍人ありて處々不割據一國王
の命不服せど府中不四五十年來の遺蹟あり中
不就てべルセホリス府の舊蹟よりハ劔刃器物
方今世と見ざり者と土中より掘出ることあり

又佳麗の園林多し總て此府外へ連山起伏し河
川其麓と廻り景色甚だ明媚なり加之氣候炎熱
なるを以て四時常ふ緑みして百花爛熳絶る夏
なり部内カスハン地名小良性の温泉と湧出を春
秋の間邦人及び亞刺比亞より來浴するもの常
ふ多し國の北方及び中部へ大山脈蟠屈を其嶺
上の冰雪凝結して殆ど水晶山の如し故に穀物
産せざる所少なうは南部シリランマサンテ
ラシの平地の如き終歲一點の雨と見ぞ是と

以て土人人工輸水の具と造て植物と滋潤を斯
の如き地方處々小散在するが故に極めて大國
と雖ども全國の二十分の一のま僅小農耕とるは
べし又デスカトシレタアル川等の如き小舟
を通どと雖ども其他の小川の乾燥の沙地小近
づくときその皆伏せと云邦人性質靈慧ありて百
事小勉強し能く絹帛と織り金銀銅の器物と作
り四方小貿易を其隊伍高と稱する徒に其國産
と駱駝小駄し印度加非爾斯堂都兒格亞刺比亞

等に至て有無と交易し時として葛烏加須嶺
と踰へ魯西亞小至ることあり但百爾西亞灣の
交易の年々減少して異邦の賈舶多く來て迭小
互市するの風俗邦人其妻と他人と看らるるを
慚とて是を以て新婦と稱ると凡の方箱内小内
と驢馬の背小負しめ些も其面貌を窺ふことを
得ざらんむ故小新婦も亦已と衛護する人誰と
ると知ることを方々又輜輿車駕の製るを以て
國王の遊行の大象小乗り貴族の駱駝小駄と

云産物酒四十種ありと虽ども赤葡萄うて釀して
る品と上とを大小麥米護護漆草泊夫藍苧麻大
麻茜根藍滿那乳香烟草吉貝橙砂糖冰糖大黄山
拔爾撒摩獸の海内身一の名馬牛羊駱駝驢虎
野馬熊山城小の沙金白銀消石硫黄山鹽州内處
々小一種ナブタと湧出を○精微なる油と云○
其質透明なり人試小蘆及び竹を取て土中入
入るととさハナブタ油其根より傳へて其上端
小騰るべし其端小火と點ると凡の火光終歲

消滅キエするることなり 邦人愚癡アホなり者モノハ多く此ココ火
と神カミとナリ敬服ウヤウヤを又マタペイデペイ教キョウを奉ホウむる徒タテハ
半ウチ猫ネコ蛇ヘビ猿サル鳥トリ及び葱ネギと神物カミモノとナリて尊信ウヤウヤを
亞刺比亞アキビヤの地チ其方位チノオウヘ小扱コサツて肥瘠コクセ同ドウトナリ今
大別オホワケして三ミとナリ曰イハレく沙漠サハラク亞刺比亞アキビヤ曰イハレく磽确セキヤク亞
刺比亞アキビヤ曰イハレく幸福クフコク亞刺比亞アキビヤ但タ全國ゼンクウを總ソウ云イハレふ時トキを
此國語ココノクゴとて「ベトエ子ベトエコ」と譯ヤクして云イハレへバ流徙リウシの
義ギを是ココ其土人ココノチノヒト市街村落シケイサツラクを為ナシて定居テイジヤとナリこ
をく常トコふ假舎カヤと住ヂ一ヒト四方シヨウふ徒轉タテマヅル一ヒト牧畜ボクシヤクと便ツクる

る地チふ至ツキると凡ソレハ一歳イツサイ許ヨリりも滯留テイリウ一ヒト或アルハ商旅シヤリ
の貨物カモノと奪賊ダツタクとナリ小空コウウと地チふ到ツキまバ又マタ滯留テイリウと
と云イハレ此州ココノシュウ初ハジメめ國クニと建タテるの主ヌシハ亞把刺アハシ杭コウ王オウ昔キの
子コ「イスマエル」と云イハレ人ヒトなり其性質ココノシヤク好惡コウオク悉シツく常人トコノヒト
小殊コトなり當時トキノトキの諺ワザナヒ曰イハレ「イスマエル」ハ衆シユ小違コトハ
衆シユハ「イスマエル」小違コトふ州人シュウノヒト多く其子孫ココノシヤク小出コトづ
るガ故ユル其思慮ココノシヨ作業カクゴ悉シツく他州人タノシュウノヒト小反コトと云イハレ其
幸コト福コト地方チヨウ小住コトして貴族キヤクと稱イハレとる者モノハ美麗ビレイの衣イ
服フクと著ツクけ其頭上ココノカブ小數種コトの帽カブと戴ツクく其帽カブの表面オモテ

ハ金銀葦彩と縷して縫合を中等の民と虽ども
尚二帽と著く其流徒の徒ハ常ハ不羈隨意と誇
稱を故ハ同種族の者若し居住と定むりとも
衆人黨と結び來りて口と極めて誹謗を貧富ハ
駱駝山羊馬等と養ふ多寡ハあり其假舎と造築
そらハ至て容易なり舎上らハ山羊の毛を用ふ
又沙漠地方とりへども或ハ穀類夏菓を産し人
家擲比そり市街と見ることあり其家屋ハ高大
みして深沉なり其屏障ハ多くハ玻璃を用ふ其

牀上ハ噴水機と設施をりて見ることあり此機
ハ本州の如き炎熱地方をてハ比類なき愉快の
玩物と云風俗奇事多し中ハ就て笑ふべきハ
人其婦と他人ハ見らるると嫌ふ故ハ每家其屋
の裡ハ小室と營む若し來客あるとさハ主人先
づ大聲と発して其客と止め其間ハ婦人ハ小室
中ハ避隱る故ハ刎頸の友と雖ども其細君と見
るると許さば氣候炎熱隊伍商も日中ハ沙海中
と通行をりて得ざ大約太陽の西没と待て程と

發^{さつ}と其^{その}東西南北^{とうなんぺい}及び^{及び}夜^よの淺深^{せんしん}と測^{とく}るの皆^{みな}星象^{せいさう}
と見て推知^{すいし}と古書^{こしょ}不^ふ曰^いく西洋^{せいよう}よりて天象^{てんさう}と窺^{うかが}ふ
ことと知るの皆^{みな}邦人^{ほんにん}又^{また}起原^{きげん}と云^い口數^{くすう}産物^{さんぶつ}等の
本編^{ほんぺん}不^ふ舉^あぐ

○地中海

此海^{このうみ}亞細亞^{あしあ}亞弗利加^{あふりか}歐羅巴^{おうろぱ}三大洲^{さんだいしゅう}の中間^{あひだ}不^ふ
あり故^ゆ不^ふ此名稱^{このなづかひ}あり

延^ひ衰^{すい}西^{せい}の巴爾德^{ばうとく}の海門^{うみかど}と以^もて亞太臘海^{あたいらう}不^ふ通^{つう}ト
東北^{とうほく}の公斯丁^{こうしん}依諾波爾^{いなのばう}及び^{及び}マルムル海峽^{まるとろう}よりて

黒海^{くろうみ}不^ふ合^あふ其^{その}平面^{へいめん}里方^{りかた}三萬深^{さんまんだん}と九十丈^{くじゅうじゆうちゆう}其中間^{そのあひだ}
幾多^{あまご}の大小島嶼^{せうせう}と納^いる或^{ある}曰^いく此海^{このうみ}幾多^{あまご}の川澤^{せんさく}
と容^いと又^{また}海水^{うみづ}と受^うて其^{その}漏洩^{ろうせつ}とる如^{ごと}と知^しらど蓋^{たいてい}
海底^{うみそこ}多^{おほ}くの火脈^{かみやく}有^あて水氣^{すいき}の蒸騰^{じゆうたう}と促^{うなが}とる
へ其^{その}島嶼^{せうせう}每^{ごと}不^ふ地震^{ちゆうしん}及び^{及び}火山^{くわんざん}の噴出^{ふんしゅつ}とるの多^{おほ}
ことと以^もて一證^{いつしん}とる不^ふ足^たまり其^{その}有名^{ゆうめい}の島嶼^{せうせう}と
左^{ひだり}不^ふ舉^あぐ
際波里^{さいはり}其^{その}地^ち多^{おほ}島海^{しまうみ}の東^{ひがし}那多里亞^{なたりあ}の南海^{なんかい}不^ふあ
り八府^{はふ}不^ふ分^{ぶん}つ今^{いま}都兒格^{とにが}所領^{しよりやう}とる周圍^{まわり}八十

二里民口二萬七千五百部中昔時金星の祭祠あり規制宏大天下の觀と極む後地震の爲り小倒摧して今其礎石と餘をのこす産物五穀酒樂徳往古ハ自立の酋長あり其首府も亦樂徳と云人煙稠密今の都兒格小併せらるる國中漸く衰ふ府内大政廳あり都兒格人此小來りて軍艦を造る然ども工人怠慢ありて船材亦粗悪なり故に往々工と終りて朽腐るることあり其港口小昔時巨銅人の立像あり高さ七

十尺○西洋七奇の一○内身空洞中は大石置て其傾倒を防ぐ其初め工人カルレス名人と云者棟梁とあり力と費をこし十二年尙未だ成らざりて死を尋でラセス名人をり者全く功と終ふ後六十年地震のゆゑに傾倒を地上小暴露すること八百年土人其再立と議する者あり今と距ること一千二百年前亞刺比亞國人此地を侵掠し巨像を破碎して九百頭の駱駝小駄して自國小運輸を云ふ又部内太陽と

祭る祠あり造築奇巧數十年ありて僅ふ就る
其初め此地大洪水あり水落て後數所ふ涸涸
と餘と土人深く之と患と以て翌年夏に至て旱
魃百餘日涸涸盡く乾涸を是に於て邦人宏祠
と建て其惠ふ報ふと云ふ闔州廣袤四方四十
四里民口三萬二千

甘的亞此國昔時自立主あり後勿搦祭巫人多
金と出して此地と買ふ百五十年前都兒格ふ
併せらる續で五年大地震あり一城及び三百

村落皆地中ふ陷る人畜死する者計るべし
爾來國中盡く疲弊と近世都兒格帝阮口多人
の軍功と稱して此地と分與を然まとも土人
其政令ふ服從せど我天保七年の比より戦争
續と起ると云

馬兒太昔時西齊里亞の所屬と云島中悉く巖
石ありて五穀と産せび又水も乏し近世ト那
拔兒的のエルバ島より興りとも先づ第一ふ
此地と併ると云近世英吉利の所屬となる

齊西里亞七縣不分其首府と云レナと云ふ
土地極めて肥沃五穀豊饒世人目して羅馬名
の糧庫と云部中噴火山ありアテナと云百五
十年前此地大地震あり四十四箇の都城村落
皆地中陥り近二十年前首府も亦其災不係
る人民死する者七百三人其近傍那波里不對
とる洋中不於て時々て空中不海市と見る
此地殿堂領ありと以て通國羅馬教と尊信せ
ざる者なり故に毎に六萬餘の僧官羅馬より

來りて居住する土人半へ貧困多く繭と養ふ西
洋諸州蚕を畜ふ蓋し此地に權輿と云ふ
閩州廣袤里方五百八十七民口一百六十五萬
軍卒三萬戰艦大小六艘產物名酒沙糖上好油
繭鹽等
撒而地泥匝殿堂領不隸を此地南北三十里東
西十八里土地極めて肥沃其大府ハ山上に在
り要害甚だ堅固内又大學校あり民口二萬六
千人土人强健ありて好んで羊裘を衣る部中

駿一く牛馬と産を形至て小なまども健捷用
かろ小堪小閩州人口五十三萬軍人三萬六千
然まども土人の偽りて十二萬騎ありと云ふ
土産五穀酒珊瑚

哥而西加二部小分つ土地卑濕山澤其八九小
居る此邦百二十年前ハ殿堂領小屬その後國民
其命令不從ハ大ニ戦争あり百年前佛蘭西
國の為小併せしる近世大酋ト那拔兒的氏名
ハ那波禮翁此部中アヤシヲ地小産る土産ハ

金銀鐵鉛

エルハ哥爾齊加島と距ること九里小過
今ハ意太里亞部中トスカア子族小隸を其周
圍七里餘人口一萬三千七百六十四部内駿
く鐵鑛と出を其原始極めて舊一古賢亞利斯
多曰く其草創ハ知るべし其鐵氣遠く此
近海と航する者の磁石小感觸をと云此島近
世佛蘭西假帝那波禮翁の配所とありしより
大小世小知らる土人往々稼穡と勉む産物銀

鑛上好酒油鹽

馬玉爾加伊マユルカ斯把泥スバニ亞國アコク小隸コレ其首府そのしゅ亦馬

玉爾加ユルカと云い要害えうがい堅固けんこ人口じんこう三萬六千さんまんにせん互市場あひだちばあ

り又耕作場くわくさくばと建たつ土人どじん強勇きやうゆうみりて大敵たいてきと惶おそ

まど毎まふ船ふねと作つくると産業さんぎやうとと其近海そのきんかい多くおほく珊

瑚さんと出でを土産とさん小麥こむぎ鹽酒しよ泊夫はくふ藍金らんきん水銀すいぎん繭絲まゆいと

驢騾等

黑海こくかい一名いっめい太海たいかい亞細亞あしや歐羅巴おうろぱの中間ちゆうかん小在あり其北

邊へんとアソフ海あそふかいと云い其水面そのすいめん廣袤くわうまう里方りほう一萬千いちまんにせん其南

西せいの衣帶水えいたいすいと以もつて瑪爾謨爾海まろほろかい小通せうつう直ちち小

地ち中海ちゆうかい不連ふれんる其水そのみづ清淨しやうじやうみりて終つひ鹹味けんみと含あむ

惟ただ地中海ちゆうかい小比せうひととれば較や透明とうめいなりなり此海このうみ冬月ふゆづき小

至いたまの波浪なみだ常じやう小荒せうあく其最そのもつとも甚しんとと死しの洶けう汪わう山やま

と捲まく故ゆに毎歲まいざい此時このとき節小逢せつせうあひとと死しを舟揖ふねハ至いたて

巧たくとに非あぐれば渡わたるべべくく海うみ中ちゆう駭おそく魚うをと

産えんと或あるハ網あみして三時間さんじゆうかんと大小魚たうせうぎよ六萬尾りくまんにびと漁りやうと

ろとあり土人どじん之そのと以もつて生産せいさんとと其周圍そのまわりの高たか

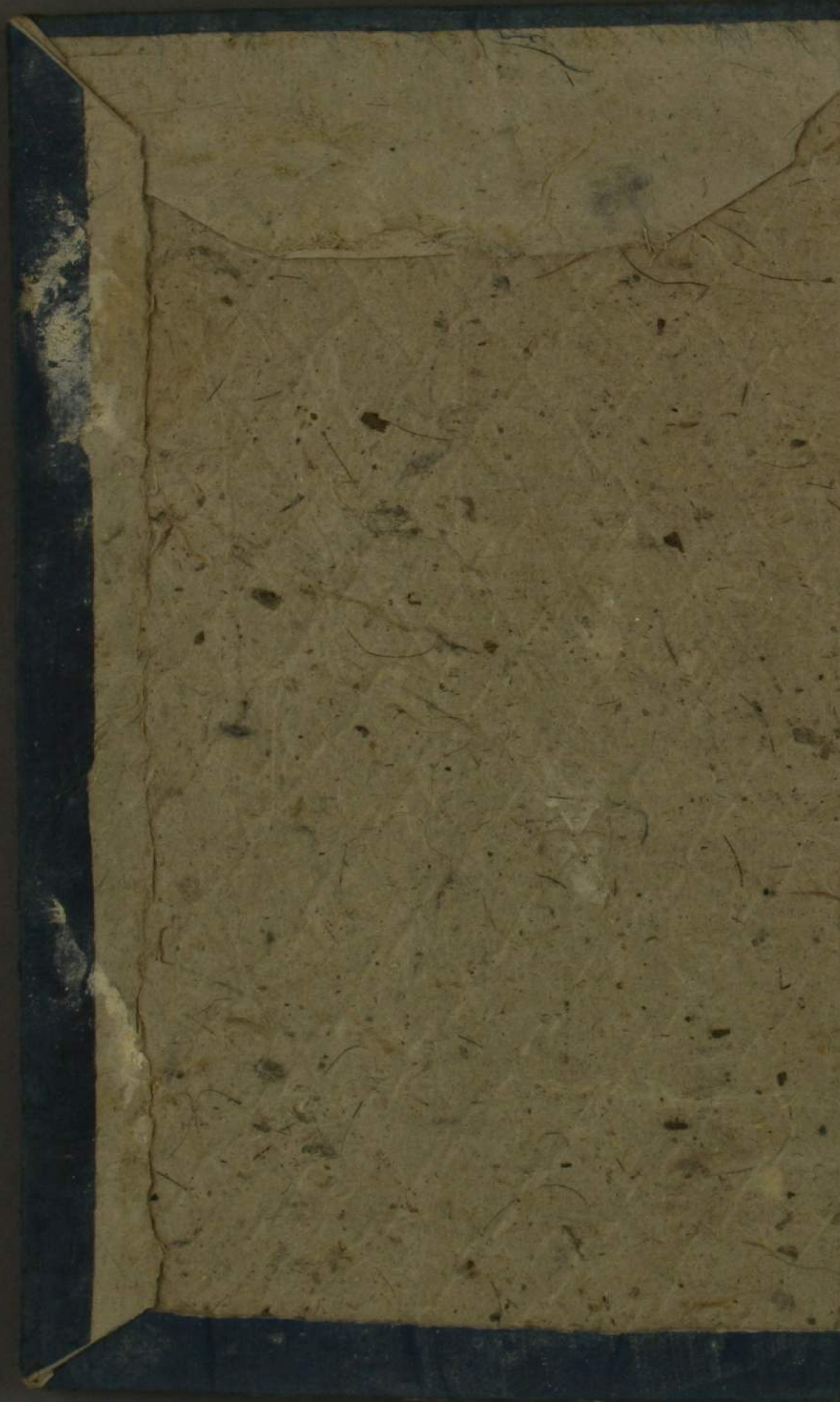
山さんより無數あまなくの大小川たうせうがわ流出りゆうしゆして皆みな此小歸このせうきととナ

ウ及び「ジニーストル」以名上其最大と云此海上古
の逸東の北高海と相連る當時場と占むること
極めて宏大後ら近山噴火して大土石と崩地
し兩湖相通せど却て逸西の地中海も流通せり
ことと致と故も今も至りて北高海と此海の中
間ふ於て牡蠣介殼の巖窟も粘著せりと見ること
殆ど海底の如くと云ふ
北高海亞細亞歐羅巴の中間ふあり其過半ハ魯
西亞も屬と其廣袤南北百四十里東西二十八里

より三十四五里も至る輿地上第一の大湖とい
百年前西客此地形を詳ふせど或ハ誤り認て東
西小長とを故不往々地圖を製する此説も據る
者あり近世伯德祿帝王魯西亞の世も至りて其侍
臣と遣りて測量せしより始めて其廣袤を詳密
小なることを得たり惟其海底の深さハ測るべし
を意者四五百尋も下らざりべし此湖上春秋の
間海市あり空中又宮殿樓閣或ハ軍人或ハ山林
獸畜と顯出せりと見ること地中海よりも多し

と云其水清淨その水清淨ありて鹹鹵鹹鹵を含む其味其味嘔嘔と云く
 然まとも夥夥しく水族及び海狗海狗を生生じ近隣近隣其利
 と享享ること最最多多いと云ふ或人或人難難トて曰曰く此
 湖湖フル川川及び其他其他數多數多の大川大川を納納ま其漏洩其漏洩を
 る処處と知ら知ららど又漲溢漲溢せせることと見見ぞ解者解者曰曰く
 地底地底不潜伏不潜伏して黒海黒海及びアラアラル湖湖又相連相連るト
 故故不漲溢不漲溢するするト

萬國輿地圖説拾遺終



177
The right page of the book contains handwritten Japanese text in vertical columns. The text is written in a cursive style (sōsho) and is enclosed within a faint rectangular border. The characters are somewhat faded and difficult to read precisely, but they appear to be organized into several columns. There are some stains and marks on the paper, particularly a large yellowish-brown stain in the center. The page number '177' is written in the top left corner.

